

玉重議員（自民議連）

令和2年12月11日

教育長答弁実録

（教育委員会）

（問）中山間地域における県立高等学校への支援等について

中山間地域の人口減少、それに伴う子供の減少で高等学校への進学者が減少する中、県教育委員会として、県全体を俯瞰し、私立学校を含めて、公教育の在り方や役割分担を整理し、どのような配置が望ましいのか、どう特色を出していくのかという長期ビジョンを示すとともに、喫緊の課題である定員割れが続く高等学校が、生徒にとって魅力あるものとなるよう、具体的かつ集中的に、しっかり伴走しながら支援していく必要があると思うが、教育長の所見を伺う。

（答）

県立高等学校の配置や特色づくりにつきましては、平成26年2月に策定した「今後の県立高等学校の在り方に係る基本計画」におきまして、長期的かつ全県的な視野に立った取組の方向性等をお示ししているところでございます。

この計画におきまして、教育の機会均等及び質的水準の維持・向上の観点から、中山間地域と都市部等の地域によって、地理的条件や県立高等学校の学校規模、私立などを含めた高等学校の設置状況等が異なることを踏まえ、学校、課程及び学科等を適正に配置することとしております。

また、多様なニーズに対応する特色ある教育活動を進めることとしており、中山間地域に所在する県立高等学校につきましては、学校運営協議会や1学年1学級規模校に設置する学校活性化地域協議会等を通じて、地域の皆様としっかりと連携しながら、学校の特色づくりに取り組んでいるところでございます。

教育委員会といたしましては、事務局職員による定期的な学校訪問や、現在、各県立学校において行っている学校経営計画の見直し作業等を通じて、それぞれの学校が向かうべき方向性や直面する課題を共有した上で、中山間地域に所在する県立高等学校の更なる活性化に向けた取組を積極的に支援してまいります。